



令和8年度 学校だより

天王丘



令和8年7月17日(金)

第 10 号

観音寺市立栞田小学校
発行

1学期の歩みと、子どもたちの成長を見つめて ～再び芽吹いたクスノキとともに～



栞田小学校のシンボルであるクスノキが、この初夏、見事に新しい葉を広げました。昨年度末の剪定後は、少し寂しく見えていた姿でしたが、今では丸く、力強く、豊かな緑をたたえ、その姿はまるで栞田小学校を静かに見守っているかのようです。その姿を見ていると、木々は目には見えないところで静かに力を蓄え、季節を越えて再び新しい芽を伸ばしていくことを教えてくれます。

この1学期の子どもたちの姿も、どこかこのクスノキと重なります。4月からの毎日、子どもたちは、話を聞くときにはしっかり耳を傾け、時間や約束を大切にし、自分たちが過ごす場所を整え、「あいさつは自分から」を合言葉に、人とのつながりを広げてきました。

また、朝のボランティア活動や清掃活動では、誰かに言われる前に進んで行動する姿が多く見られました。一つひとつは小さな行動かもしれませんが、しかし、その積み重ねが学校に安心を生み、友達を思いやる温かな雰囲気を育ててくれました。

終業式では、子どもたちに「時を守り、場を清め、礼を正す」という言葉を紹介しました。時間や約束を大切にすること。自分たちが使う場所を気持ちよく整えること。そして、自分からあいさつをし、相手を大切にすること。こうした日々の積み重ねは、学力だけでなく、人として信頼される土台となります。

今年度の学校目標である「みがき合い、高め合う心と言葉、温かいかわりとけじめが息づく栞田小教育の深化」は、まさに子どもたちの毎日の姿の中に表れていたように感じています。

明日から始まる夏休みには、「あいさつは自分から」と「自分の命は自分で守る」という二つのことを、ぜひ大切にしたいと願っています。「これくらいなら大丈夫。」そう思ったときこそ、一度立ち止まり、考えて行動することが、自分の命を守ることにつながります。そして、家族や地域の方々とのつながりを大切にしながら、夏休みだからこそできる経験をたくさん積み重ねてほしいと思います。

保護者の皆さま、地域の皆さまには、1学期間、子どもたちを温かく見守り、本校の教育活動を支えていただきましたことに、心より感謝申し上げます。

子どもたちが安心して学び、挑戦し、成長できるのは、皆さまの支えがあってこそです。校庭のクスノキが、見えないところで力を蓄えながら豊かな緑を広げているように、子どもたちもまた、この1学期で確かな力を身に付けています。

2学期、さらに新しい芽を伸ばした子どもたちと、また笑顔で会えることを楽しみにしています。